

取扱説明書

《膨脹式》 作業用救命衣

小型船舶用救命胴衣の要件に適合するもの(膨脹式)

マリンベスト

KK-51

国土交通省型式承認番号 第4678号

(2015.9)

分類の種類
TYPE **A**

ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくご使用下さい。
なお、本製品は繰返し使用できますので、この説明書は大切に保管して下さい。
本製品の使用方法及び再使用手順は、3ページから8ページに記載してあります。

製造販売 (国土交通省認定製造事業所) 興亜化工株式会社

■安全に関する注意事項

作業用救命衣(小型船舶用救命胴衣の要件に適合するもの{膨脹式})KK-51(以下「救命衣」という。)を正しくお使いいただく為にこの注意事項をお守り下さい。

危険 取扱いを誤った場合、使用者が[死亡又は重症を負う危険が切迫して生じることが想定される]内容です。

1. 気室に、裂け、切れ傷及び漏れ等の損傷がある場合は、絶対に使用しないで下さい。
2. 救命衣を手動膨脹又は自動膨脹にて使用した場合は、ガスボンベ及びスプールの新品と交換して下さい。ガスボンベを新品と交換しなければ気室を膨らませるガスは出てきません。
3. ガスボンベの使用確認窓に少しでも赤い部分が見えるときは、使用できません。ガスボンベを交換して下さい。
4. 巻き上げキャップのスプール確認窓に少しでも赤い部分が見えるときは、スプールの純正部品の新しいものと交換して下さい。
5. スプールの有効期間は1年です。スプールの、経年変化によって水没してから膨脹装置が作動して自動膨脹するまでの時間が長くなる傾向にあります。期間経過後は純正部品と交換して下さい。
6. 泳げない人は使用を避けて下さい。
7. 必ず、この取扱説明書に従って正しく使用して下さい。

警告 取扱いを誤った場合、使用者が[死亡又は重症を負う可能性が想定される]内容です。

1. 落したり、ぶつけたりしないで下さい。強い衝撃が加わると膨脹装置が破損して使用できなくなります。誤って落したり、ぶつけたりした場合は、必ず膨脹装置を点検して下さい。(7~8ページ保守・点検の項を参照)
2. 強い衝撃を与えたり、鋭利な刃物や突起物に触れさせないで下さい。強い衝撃を与えたり鋭利な刃物や突起物に触れた場合は、救命衣に補助送気管から空気を吹き込み、救命衣気室を膨脹させて12時間以上放置した後、漏れが無いかが調べて下さい。その後、補助送気管より完全に中の空気を抜き、キャップをして下さい。
3. 突起物、鋭利な物(ブローチ、ボールペン、ネクタイピンなど)は救命衣着用前に取り外して下さい。
4. 救命衣は衣服等の上から正しく着用して下さい。正しく着用できない場合は使用しないで下さい。
5. 救命衣の取扱い時は火気厳禁にして下さい。
6. ガスボンベ及びスプールの、純正部品以外のものを使用しないで下さい。正常に膨脹しない原因になります。
7. 気室が膨らんだ状態の救命衣では、ガスボンベを使った作動・膨脹をさせないで下さい。膨脹しすぎとなり救命衣を破裂させる原因になります。
8. 船上等で水をかけないで下さい。救命衣が膨脹する場合があります。

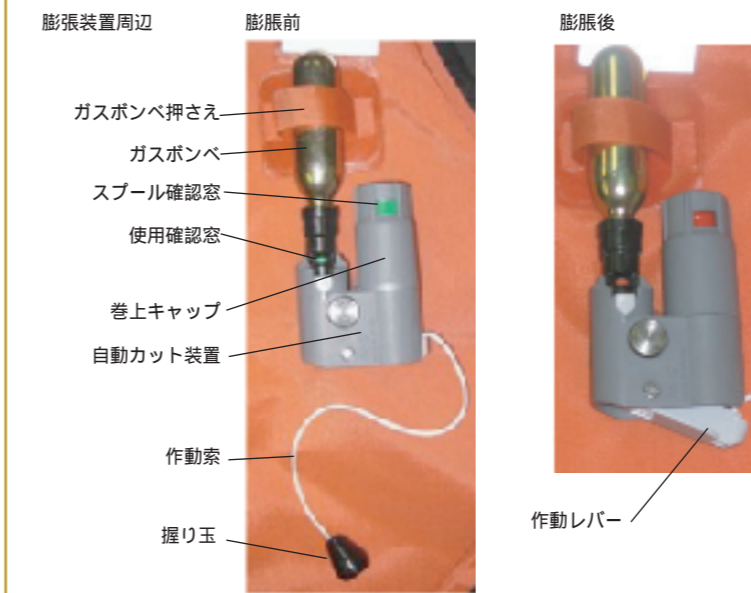
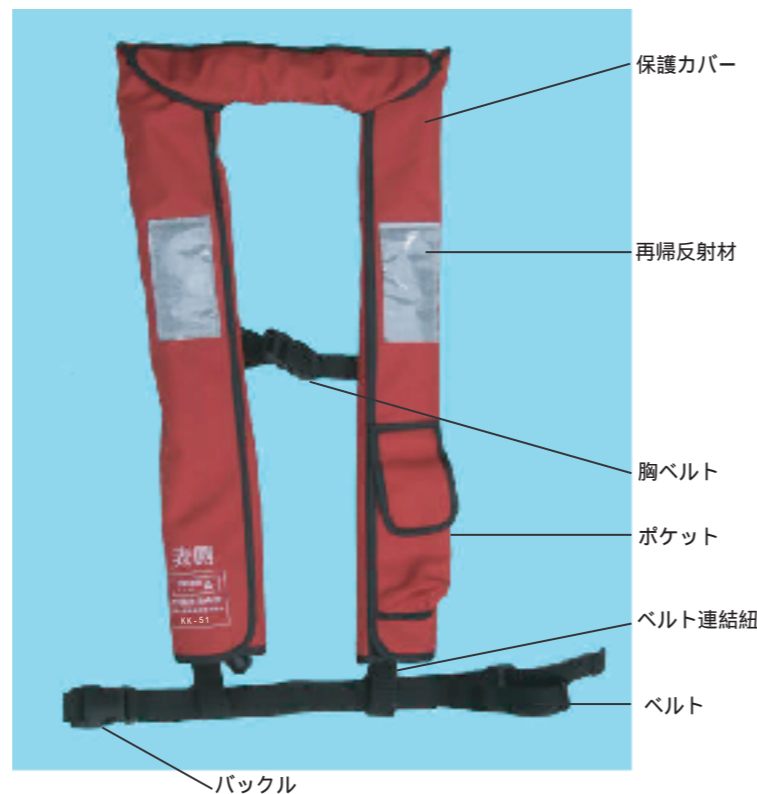
注意 取扱いを誤った場合、使用者が[傷害を負う可能性が想定される場合及び物理的損害のみの発生が想定される]内容です。

1. 使用前には必ず自主点検をして下さい。(7~8ページ保守・点検の項を参照)
2. この救命衣は救命用ですので、他の用途に使用しないで下さい。
3. この救命衣は、自動膨脹式となっていますが、この機能はあくまで補助的なものです。着水後は、作動索を引いて救命衣を膨脹させて下さい。
4. 救命衣を膨脹させた状態で飛び込む場合は、両手で救命衣を抱きかかえるように、しっかり固定し飛び込むようにして下さい。(高さ3mでの試験実施)
5. 水面に浮遊しているときは、救命衣を破裂させる恐れのある浮遊物に注意して下さい。
6. 救命衣を着用し、雨や波などで濡れた場合は、十分に乾燥させてから保管して下さい。
7. 救命衣の上に重いものを載せないで下さい。
8. 使用しない場合、炎天下、車のトランクの中など、高温及び湿気が多い環境下では保管しないで下さい。ガスボンベを破裂させたり、膨脹装置を誤作動させる原因になります。
9. 幼児の手が届かないところに保管して下さい。怪我等の原因になります。
10. 膨脹装置は、精密な構造ですので分解しないで下さい。膨脹装置を誤作動させる原因になります。

■製品仕様

作業用救命衣	首掛け式 気室(オレンジ色、ナイロン・ポリウレタンコーティング布) 膨脹装置、補助送気管、ベルト、保護カバー 再帰反射材貼付、笛付 縦約54cm、幅約36cm(膨脹時) 浮力:約10kg
膨脹装置	自動カット装置(手動膨脹兼用):1個 ガスボンベ(液化炭酸ガス 17g):1個 スプールの(内装):1個
質量	約660g(作業用救命衣本体部分:約490g)

■各部の名称



■概要

本製品は、船舶設備規程第311条の20(作業用救命衣)、同条の21及び小型船舶安全規則第53条(小型船舶用救命胴衣)並びに小型漁船安全規則第25条(救命設備の要件)の2に適合するものです。本製品は、船員労働安全衛生規則(舷外作業及び漁労作業)に規定された作業用救命衣として、海中転落の恐れのある作業等に従事する場合に常時着用することに適し、軽量コンパクトに設計され、更に小型船舶用救命衣としてもご使用頂ける兼用タイプのものであります。

■使用方法

- 救命衣を着用する際は以下の点をチェックし、問題があれば使用を中止し、必ず7~8ページの保守・点検に従って点検を行って下さい。
1. 保護カバーにキズや穴がないこと。
 2. ベルトにキズやホツレがないこと。
 3. バックルに割れ、欠けが無く、はめ合いがスムーズであること。
 4. 保護カバーをめくり、膨脹装置の確認窓2か所が緑の表示になっていること。
1. KK-51の装着
 - (1) バックル(留め具)を外します。
 - (2) 保護カバーがついた状態の救命衣を首に掛けます。(図1)
 - (3) 救命衣に付いているベルトを腰部に回し、ベルトの左右のバックル(留め具)を差込み、ベルトの長さを調節してしっかりと装着して下さい。装着が十分でない場合救命衣が身体から外れる原因になります。
 - (4) 胸元の左右の間隔を胸ベルトで調整して下さい。



図1

図2

2. KK-51の手動膨脹
救命衣は、作動索の握り玉(図2)を下方に強く引っ張ることにより膨脹装置が作動し、ガスボンベ内の炭酸ガスにより気室が膨らみます。
3. KK-51の自動膨脹
救命衣は手動膨脹のほかに、水中に全没することにより、スプールの水を感じることによって自動膨脹する機能が備えられています。膨脹装置が作動し、炭酸ガスの膨脹により救命衣が展開して、身体を浮遊させます。自動膨脹が少しでも遅いと思われた際には、作動索の握り玉を下方に強く引っ張って膨脹させて下さい。

4. 適正な浮遊姿勢

救命衣、ベルト及びベルト連結紐との組合せで、適正な浮遊姿勢を保ちます。(図3)



図3

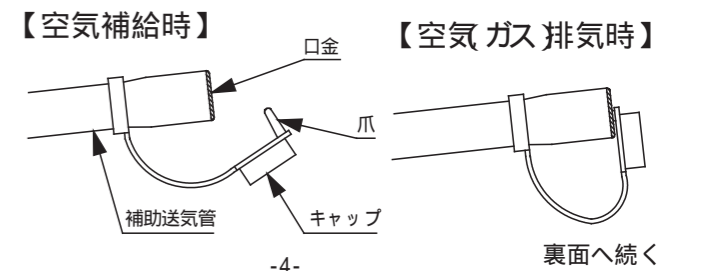
5. 水上へ避難する場合の膨脹

緊急でない場合には、手動によって救命衣を膨脹させて下さい。膨脹させた状態で水面に飛び込む時は救命衣が外れないように両手でしっかり抱いて飛び込んで下さい。

■補助送気管(装置)

この装置は、気室に空気を補給する時又は気室の空気(ガス)を排気するときに使用する装置です。

- a. 空気補給時: キャップを外して、補助送気管の口金(樹脂製)から補給します。補給後はキャップをして下さい。
- b. 空気(ガス)排気時: キャップを外して、キャップの先の爪を補助送気管の口金(樹脂製)に押し込んだ状態で救命衣を手などで圧迫して排気します。排気後はキャップをして下さい。



-4-

■ 膨脹使用後の再生

膨脹使用後の救命衣は以下の再生手順に従い、専用の再生キットを組みつけることで、新品と同等の性能が得られます。

1. 救命衣を膨脹使用した後は、一度気室内の炭酸ガスを抜きます。使用後の整備点検として気室に補助送気管から口で息を吹き込み気室をパンパンに膨脹させ、キズやほつれなどの異常が無いことを確認しながら、シャワーなどで気室、保護カバー、ベルトをよく水洗いします。膨脹させてから12時間後に圧力が抜けていなければ再生使用ができます。(漏えい試験合格) 気室からガスを抜いて下さい。

2. 次の要領でガスポンベとスプールを取り外し廃棄して下さい。

< ガスポンベとスプールの取り外し方法 >

a. 使用済みのガスポンベを リリースレバーをスライドさせながら 左に90°回して外して下さい。



b. 膨脹装置の巻上キャップを左に回して外して下さい。巻上キャップには突起(ストッパー)がありますので注意して作業して下さい。自動カット装置を逆さにして使用済みのスプールを取り出して下さい。



3. 気室、保護カバー、ベルト及び取り外した巻上キャップを日陰で良く乾かして下さい。

4. 専用の再生キットを用意し、その内容を確認して下さい。(使用確認窓が緑色のガスポンベ、未使用のスプール、取扱説明書)

5. 作動レバ - が下がっている時は、上に押し上げてロックがかかる位置まで戻して下さい。



6. 気室内の空気(ガス)を補助送気管を使って十分に抜き、キャップをして下さい。

7. 次の要領で新しいスプールとガスポンベ(CO2:17g)を取り付けて下さい。

< スプールとガスポンベの取り付け方法 >

a. 膨脹装置及び巻上キャップの内部に水滴等の付着がないことを確認して下さい。

b. 新しいスプ - ルを、膨脹装置のガイド溝に合わせて挿入して下さい。



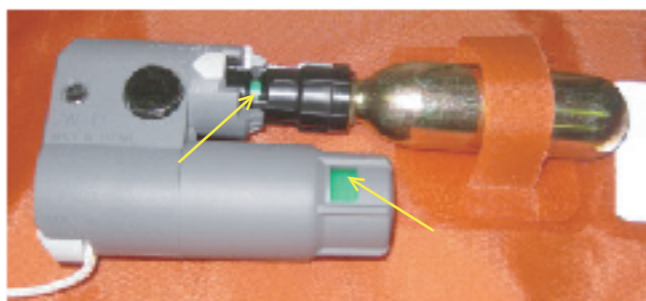
c. 巻上キャップを右に回して巻上キャップの突起(ストッパー)が当たるまで締めて下さい。この時、 の表示窓がすべて緑になります。赤が見える場合は、スプールの異常が疑われますので使用しないで下さい。巻上キャップが回り切っていない場合は に赤が見えます。



d. 新しいガスポンベをガスポンベ押さえをくぐらせて取り付けます。ガスポンベのプラスチックに記された矢印1をリリースレバーに向け、矢印1の方向に押し込みながら矢印2の方向に回して、ロックをかけて下さい。



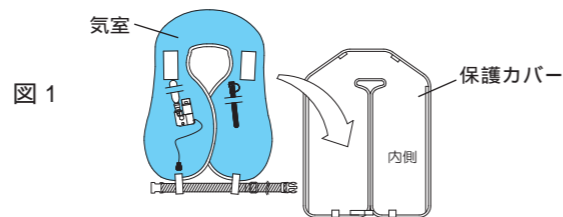
e. の窓がすべて緑であればガスポンベとスプールの交換は正しく行われています。ガスポンベの使用確認窓 に赤が見える場合は、ガスポンベの異常が疑われますので使用しないで下さい。



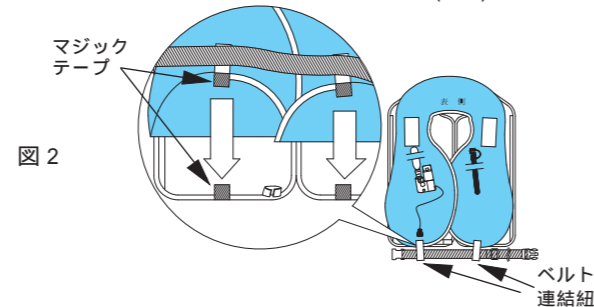
8. 気室を畳み、保護カバーにセットします。(6~7ページの保護カバーへの収納方法の項を参照)

■ 保護カバーへの収納方法

保護カバーの内側を表にして広げ、気室をその上に配置する。(図1)



気室のベルト連結紐裏側にあるマジックテープと保護カバー下側にあるマジックテープ2箇所を合わせる。(図2)



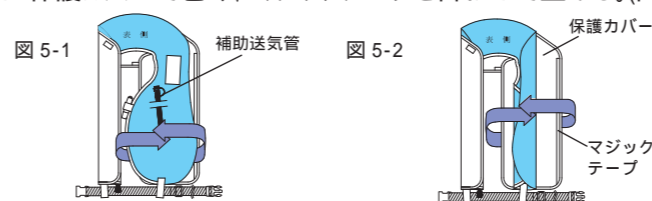
気室(左側)を保護カバーで包む。
イ. 作動索を膨脹装置に沿わせて伸ばす。(図3-1)
ロ. 膨脹装置を気室で両側から包む。(図3-1)
ハ. 保護カバーで包み、マジックテープを合わせて止める。(図3-2)



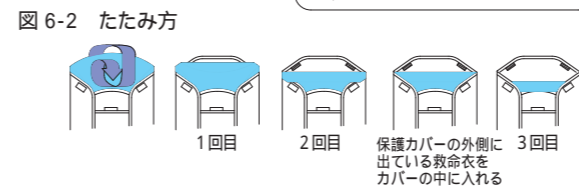
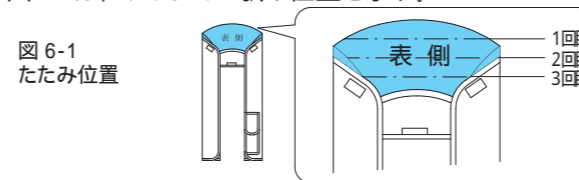
握り玉を保護カバーに固定する。
イ. で止めたマジックテープの下部部分を少し開く。(図4-1)
ロ. 作動索を保護カバーの内側のマジックテープで止め握り玉を保護カバーの外に出す。(図4-2)
ハ. イで開いたマジックテープを元に戻す。



気室(右側)を保護カバーで包む。
イ. 補助送気管を気室で両側から包む。(図5-1)
ロ. 保護カバーで包み、マジックテープを合わせて止める。(図5-2)



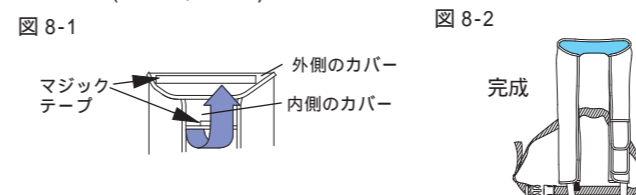
気室の首部を3回たたむ。(図6-1,図6-2)
図6-1は、おおよその折り位置を示す。



外側のカバーを被せ、マジックテープを合わせて止める。(図7-1,図7-2)



内側のカバーを被せ、外側のカバーのマジックテープに合わせて止める。(図8-1,図8-2)



■ 保守・点検

救命衣が何時も完全な作動をするために、6ヶ月毎に次の保守・点検を実施して下さい。点検により異常等がある場合は、各項目の指示に従い販売店又は弊社(興亜化工(株))に整備(点検・部品交換)、購入(製品、部品)を依頼して下さい。

1. 気室の点検
裂け、切れ傷、こすれ、漏れ、損傷及び変質等の有無を点検して下さい。異常がある場合は製品購入を依頼して下さい。
2. 膨脹装置の点検
亀裂、破損などの異常の有無を点検して下さい。異常がある場合は整備又は製品購入を依頼して下さい。
3. スプールの点検
巻上キャップを外してスプールの有効期間を点検して下さい。スプールの側面に製造年月が刻印されていますので1年が経過していないか点検して下さい。期間経過後は、純正部品の新しいスプール(JW-12用スプール)を購入し、交換して下さい。有効なスプールをセットして巻上キャップをストッパーが当たるまで締めて下さい。この時、キャップの表示窓がすべて緑色でない場合は、キャップが締めきっていないか、装着したスプールに異常がありますので再度点検して下さい。
4. ガスポンベの点検
ガスポンベの使用確認窓がすべて緑色でない場合や、ガスポンベ本体に腐食、さびが進行した場合は新しい純正部品(JW-12用ガスポンベ)を購入し、交換して下さい。
5. 補助送気管の点検
補助送気管に亀裂、裂け及び変質等が無い、また、キャップの有無を点検して下さい。亀裂等の異常がある場合は整備又は製品購入を依頼して下さい。
6. ベルトとベルト連結紐の点検
ベルトとベルト連結紐の損傷、切れ等とミシン糸の切れ、ホツレ及びバックルの損傷の有無を点検して下さい。損傷等がある場合は整備又は製品購入を依頼して下さい。
7. 保護カバーの点検
保護カバーの裂け、ミシン糸の切れ、ホツレ及びマジックテープの損傷の有無を点検して下さい。損傷等がある場合は、整備又は部品購入を依頼して下さい。
8. 笛の点検
笛の有無と音が出るかを点検して下さい。笛が無い場合又は音が出ない場合は部品購入を依頼して下さい。
9. 再帰反射材の点検
再帰反射材の有無及び剥がれ、汚れ、損傷等を点検して下さい。再帰反射材が取れた場合、剥がれ、汚れなどがある場合又は無い場合は整備又は製品購入を依頼して下さい。

整備記録・メモ

製造販売
(国土交通省認定製造事業場)

興亜化工株式会社

ホームページ; <http://www.koa-kako.co.jp>
E-Mailアドレス; sales@koa-kako.co.jp
〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-13-9
TEL(03)5835-2924 FAX(03)5835-1041